

企業間取引DXを実現する インボイスチェーン分科会入会のご案内

～ご利用中の商取引システム（流通BMSなど）を生かした業務効率化/コスト削減の実現を目指す～

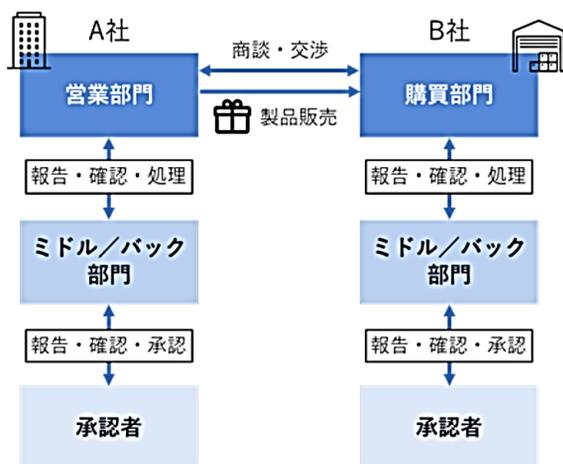
※入会無料。分科会開催頻度は月1,2回

インボイスチェーン分科会とは

精算をはじめとする企業間取引において、既存システムを活用し、かつデジタル通貨の利点を活かして様々な課題を解決する機能を持つ基盤を作ることで日本の企業間取引/精算業務の効率的な発展を目指して活動しています。

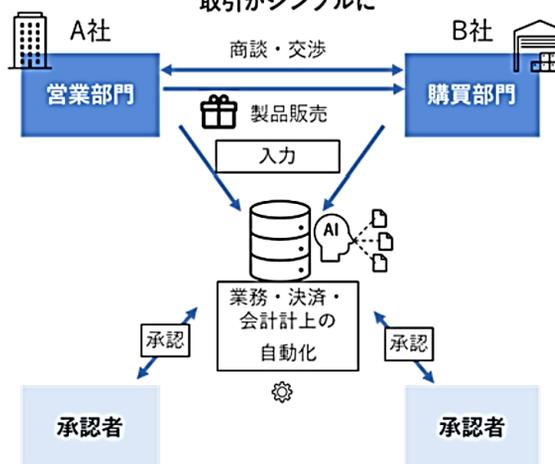
現状

企業間・企業内で複数の確認・承認で手間も時間も掛かる



目指す世界観

データの一元管理・決済関連業務自動化により
取引がシンプルに



企業間取引の事務負担軽減、決済手数料軽減を目指した新しい世界観を様々な業界の企業様と検討し、創造実現に向けて活動を共にしてみませんか？
インボイスチェーン分科会について詳細のご案内をいたしますので、ぜひお問い合わせください。

■お問い合わせ先：

- ・株式会社ディーカレットDCP ビジネスアライアンスチーム まで
- ・ info-alliance@decurret-dcp.com

DCJPYとは



DCJPYはディーカレットDCPが提供するデジタル通貨です。
 「ブロックチェーン由来の機能性」と「銀行預金と同等の性質」を併せ持ち
 「多様なビジネスに応用可能な通貨」です。
 インボイスチェーンはデジタル通貨DCJPYのメリットを活用したシステムです。

DCJPY 利用者 メリット	①即時現金化	支払い受け時「預金」として受け取り、通常預金口座に振り替え可能
	②振込手数料の低減 *	現行の振込手数料より費用負担を軽減
	③デジタル通貨使途制限 *	利用用途をコントロール (例：給付金の利用先を特定の法人アカウントに限定 など)
	④決済のプログラム・自動化 *	決済自動化による省人化/無人化を実現
銀行預金 と同等の 特徴	⑤預金保険制度への適合性	DCJPYは「決済用預金」に分類され、預金保険制度に原則適合
	⑥「預金」としての会計処理	DCJPY利用企業は、DCJPYを貸借対照表上「預金」として処理することができ、預金と変わらない会計処理が可能
	⑦銀行KYCの適用	DCJPYの利用者は、金融機関においてKYCが済んでいるので、利用者は身元確認が取れている相手から資金を受け取ることができ、安全な取引を実現

*本件はまだ実装されておりません。当社の機能実現性を鑑み、デジタル通貨フォーラムや検討企業からDCJPYに期待いただいている項目の記載となります

デジタル通貨フォーラムのご紹介

インボイスチェーン分科会は、デジタル通貨フォーラムに属しています。
 デジタルイノベーションを通じて金融インフラの革新を進め、
 日本経済の発展に貢献していくことを目指し、2020年12月発足しました。
 100以上の企業や団体、有識者、関係省庁により構成され、業界や領域ごとに分科会
 を開催し、実証実験や調査研究等を実施しています。
 ご参加いただく事で、他分科会の取組内容や有識者から発信される最新の業界知見を
 聞く機会もございます。

デジタル通貨フォーラム 座長・アドバイザー・オブザーバー

座長 山岡 浩巳

フューチャー株式会社取締役, 元日本銀行決済機構局長

アドバイザー

- 森・濱田松本法律事務所 増島雅和 パートナー弁護士
- 野村総合研究所 井上哲也 シニアチーフリサーチャー
- 明治大学政治経済学部 小早川周司 教授
- 早稲田大学大学院経営管理研究科 斉藤賢爾 教授
- 鈴木智佳子 公認会計士

オブザーバー

- 金融庁
- 総務省
- 財務省
- 経済産業省
- 日本銀行
- シニアアドバイザー
- 遠藤俊英 (元金融庁長官)

運営 株式会社ディーカレットDCP (DeCurret DCP Inc.)

設立日 2020年2月

所在地 東京都千代田区富士見2-10-2

事業内容 デジタル通貨事業

電子決済等代行業者 関東財務局長 (電代) 92号

<https://www.decurret-dcp.com/>